

改訂日：－

制定日：2024.12.11

確認日：－

BM レスキュー 安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名称	BMレスキュー
供給者の会社名	株式会社メニコン
所在地	愛知県名古屋市中区葵3丁目21番19号
担当部署	バイオソリューション部
連絡先電話番号	052-325-7384
FAX 番号	052-325-7386
緊急連絡電話番号	052-325-7384 (平日 午前9:00～午後6:00)

推奨用途及び使用上の制限

家畜ふんの堆肥化を促進・消臭する目的で、堆肥化施設の家畜ふんに散布
食品や飼料への添加を禁止

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

鈍性化爆発物	分類できない
爆発物	区分に該当しない
可燃性ガス	区分に該当しない
エアゾール	区分に該当しない
酸化性ガス	区分に該当しない
高压ガス	区分に該当しない
引火性液体	区分に該当しない
可燃性固体	区分に該当しない
自己反応性化学品	区分に該当しない
自然発火性液体	区分に該当しない
自然発火性固体	区分に該当しない
自己発熱性化学品	区分に該当しない
水反応可燃性化学品	区分に該当しない
酸化性液体	区分に該当しない
酸化性固体	分類できない
有機過酸化物	区分に該当しない
金属腐食性化学品	分類できない

健康に対する有害性

急性毒性（経口）	分類できない
急性毒性（経皮）	分類できない
急性毒性（吸入：気体）	区分に該当しない
急性毒性（吸入：蒸気）	区分に該当しない

改訂日：-

	急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	分類できない
	皮膚腐食性／刺激性	分類できない
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	分類できない
	呼吸器感受性	分類できない
	皮膚感受性	分類できない
	生殖細胞変異原性	区分に該当しない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	分類できない
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	分類できない
	誤えん有害性	分類できない
GHS ラベル要素	該当なし	
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期（急性）	分類できない
	水生環境有害性 長期（慢性）	分類できない
	オゾン層への有害性	分類できない
注意喚起語	-	
危険有害性情報	-	
注意書き	-	
安全対策	粉じんを吸入しないこと。 作業服及び防じんマスク、防じん眼鏡、保護手袋を着用すること	
応急措置	吸入した場合、被災者を新鮮な空気がある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 眼に入った場合、眼をこすらずに直ちに流水で洗眼すること。 気分が悪い場合は、医師の手当て、診断を受けること。	
貯蔵	施錠して保管すること。	
廃棄	内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。	

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

成分名	CAS No.	含有量 (%)	化審法番号
二酸化ケイ素	7631-86-9	<99	1-548
石英	14808-60-7	< 1	1-548
微生物（TAB7 株）培養液	-	非開示	-

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。

4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合	新鮮な空気がある場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合	風で吹き飛ばすか、流水で洗い流すこと。
眼に入った場合	目をこすらずに直ちに流水で洗眼すること。 刺激が続く場合には、医師の手当て、診断を受けること。
飲み込んだ場合	水で口の中を洗浄すること。

5. 火災時の措置

消火剤

消火方法	この製品は不燃性である。
適切な消火剤	周辺設備に適した消火剤を使用する。
使ってはならない消火剤	なし

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	漏出時は、漏洩区域を隔離し、関係者以外の立ち入りを禁止する。 作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触、吸入を避けること。
環境に対する注意事項	環境へ影響をあたえないように注意すること。 河川等に排出するなど環境中に放出しないこと。
封じ込め及び浄化の方法及び機材回収、中和などの浄化の方法及び機材等	真空掃除機で吸引するか、ほうきとちりとりで掃き取って回収する。 硬質なため物品に傷が残る危険がある場合は、散水で十分に洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	容器などを破損しない様に注意する。
安全取扱注意事項	すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 取扱いの時に粉じんを吸い込まないよう作業環境の整備や作業に際し防じんマスクの着用を行う。
混合接触させてはならない物質	フッ化水素との接触を避けること。
衛生対策	データなし

保管

安全な保管条件	乾燥した場所に保管する。水濡れ、湿気に注意する。
混合接触させてはならない物質と分離のための技術的対策	データなし
安全な容器包装材料	データなし

8. ばく露防止及び保護措置**管理指標**

管理濃度	(労働安全衛生法・作業環境評価基準) $E=3.0/(1.19 \times Q+1)$ E 管理濃度 (単位 mg/m ³) Q 当該粉じんの遊離けい酸含有率 (単位 パーセント)
許容濃度	日本産業衛生学会の許容濃度 (第2種粉塵) 総粉塵 ; 4mg/m ³ 吸入性粉塵 ; 1mg/m ³

ばく露防止

設備対策 取扱時には管理濃度以下にするために局所排気装置を設ける。

保護具

呼吸用保護具	防じんマスクの着用。
手の保護具	保護手袋の着用
眼の保護具	防じん眼鏡の着用。
皮膚および身体の保護具	作業服の着用。

9. 物理的及び化学的性質**基本的な物理的及び化学的性質に関する情報**

外観 (物理的状態、形状)	固体 (粉末)
色	白色
臭い	無臭
pH	6 ~ 8
融点	1000°C以上
凝固点	データなし
沸点	データなし
初留点	データなし
沸点範囲	データなし
引火点	データなし
可燃性 (ガス、液体及び個体)	不燃
爆発下限界及び爆発上限界 / 可燃限界	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び/又は相対密度	データなし
蒸気ガス密度 (空気=1)	データなし

改訂日：—

比重（真比重）	2. 2～2. 3
かさ比重	0. 10～0. 50
溶解度	
水に対する溶解度	ほとんど不溶
溶媒に対する溶解度	データなし
n-オクタノール／水分配係数	データなし
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし
粒子特性	0～10mm

10. 安定性及び反応性

反応性	フッ化水素と反応し、有害な四フッ化ケイ素（ガス）を発生する。
化学的安定性	安定である。
避けるべき条件	フッ化水素との接触
混触危険物質	フッ化水素
危険有害な分解生成物	四フッ化ケイ素（ガス）

11. 有害性情報

【製品】

急性毒性

経口	データ不足のため分類できない。
経皮	データ不足のため分類できない。
吸入	データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	データ不足のため分類できない。
眼に対する重篤な損傷性または眼刺激性	GHS 分類としては分類できないが、眼に機械的刺激を引き起こすことがある。
呼吸器感作性	データ不足のため分類できない。
皮膚感作性	データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性	データ不足のため分類できない。
発がん性	データ不足のため分類できない。
生殖毒性	データ不足のため分類できない。

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性（単回ばく露）	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	データ不足のため分類できない。
誤えん有害性	データ不足のため分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性 [製品]	データ不足のため、分類できない。
残留性・分解性 [製品]	データ不足のため、分類できない。
生体蓄積性 [製品]	データ不足のため、分類できない。
土壤中の移動性 [製品]	データ不足のため、分類できない。
他の有害影響	オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	
廃棄物の処理方法	内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
汚染容器及び包装	各地域の法令に従って処分する。

14. 輸送上の注意

国際規制	非該当
海洋汚染物質	非該当
輸送上の注意	水濡れ、湿気に注意する。

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令	
労働安全衛生法	粉じん障害防止規則 施行令第18条の2 別表第9 第165号2 結晶質シリカ
じん肺法	
作業環境測定法	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	

16. その他の情報

参照文献及び情報源	
参考文献	国際化学物質安全性カード (ICSC) 日本産業衛生学会

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。

また、注意事項は通常の手配を対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。